

三六〇番

潮干なば 玉藻刈りつめ 家の妹が 浜づと乞は
ば 何を示さむ

三六一番

秋風の 寒き朝明を 佐農の岡 越ゆらむ君に
衣貸さましを

三六二番

みさご居る 磯廻に生ふる なのりその 名は告
らしてよ 親は知るとも